

令和6年度 学校評価

そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ わからない ■

(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		考察																																															
<p>1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進</p> <p>学校は、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に努めていると思いますか。 (感動・感謝、郷土愛、いのちを大切にしている心、子どもの体力向上、基本的な生活習慣など)</p>	<p>2 自ら学びに向かう力を育む教育の推進</p> <p>学校は、子どもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいると思いますか。</p>	<p>1の豊かな心と健やかな体を育む教育の推進について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が保護者、児童、教職員全てにおいて8割を超えた。日々の授業及び学級通信等で取組の様子等を積極的に発信したことが、結果につながった。2 自ら学びに向かう力を育む教育の推進については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が、児童生徒において7割に届かなかった。児童の実感を高める授業づくりをさらに進めていく。</p>																																															
<table border="1"> <caption>Item 1: Rich heart and healthy body</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>40%</td><td>55%</td><td>5%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>35%</td><td>45%</td><td>15%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>50%</td><td>45%</td><td>5%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	40%	55%	5%	0%	0%	児童生徒	35%	45%	15%	5%	0%	教職員	50%	45%	5%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 2: Self-learning</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>40%</td><td>45%</td><td>10%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>15%</td><td>50%</td><td>25%</td><td>10%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>45%</td><td>50%</td><td>5%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	40%	45%	10%	5%	0%	児童生徒	15%	50%	25%	10%	0%	教職員	45%	50%	5%	0%
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	40%	55%	5%	0%	0%																																												
児童生徒	35%	45%	15%	5%	0%																																												
教職員	50%	45%	5%	0%	0%																																												
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	40%	45%	10%	5%	0%																																												
児童生徒	15%	50%	25%	10%	0%																																												
教職員	45%	50%	5%	0%	0%																																												
(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進																																																	
<p>3 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進</p> <p>学校は、学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりすることの育成に、取り組んでいると思いますか。(児童会・生徒会活動、学校のきまり見直し、地域のよさを伝えたり課題解決したりする取組、ナイスライ(中学校)など)</p>		<p>「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が保護者、教職員ともに8割に達しているものの、児童においては「どちらかと思えばそう思わない」「そう思わない」が4割近くを占める結果となった。自らの活動が地域社会とどのようにつながり、役立っているのか、また具体的な活動内容等を示すことが必要と考える。また「わからない」と答えた児童が1割程度いるため、総合的な学習の時間の時間や特別活動等を通して丁寧な振り返りが必要である。</p>																																															
<table border="1"> <caption>Item 3: Social contribution</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>35%</td><td>45%</td><td>15%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>15%</td><td>35%</td><td>45%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>50%</td><td>40%</td><td>10%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	35%	45%	15%	5%	0%	児童生徒	15%	35%	45%	5%	0%	教職員	50%	40%	10%	0%	0%																									
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	35%	45%	15%	5%	0%																																												
児童生徒	15%	35%	45%	5%	0%																																												
教職員	50%	40%	10%	0%	0%																																												
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進																																																	
<p>4 5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実</p> <p>学校は、子どもが、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学ぶ授業づくりを行っていると思いますか。</p>	<p>学校は、子どもが、対話などを通して、他の人の考えや意見を自分の学びに生かすような授業ができていますか。</p>	<p>個別最適な学び及び共働的な学びとともに、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を占める割合が保護者、教職員が8割を超えているものの、児童においては低い状況にある。さらに、3者ともに「わからない」の回答が一定数ある。これについては個別最適な学びと協働的な学びについて職員の研修を深めるとともに、学級通信や学校だより等を通して、発信していく必要がある。</p>																																															
<table border="1"> <caption>Item 4: Individualized learning</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>30%</td><td>50%</td><td>15%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>35%</td><td>35%</td><td>20%</td><td>10%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>50%</td><td>40%</td><td>10%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	30%	50%	15%	5%	0%	児童生徒	35%	35%	20%	10%	0%	教職員	50%	40%	10%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 5: Collaborative learning</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>35%</td><td>45%</td><td>15%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>30%</td><td>40%</td><td>25%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>50%</td><td>40%</td><td>10%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	35%	45%	15%	5%	0%	児童生徒	30%	40%	25%	5%	0%	教職員	50%	40%	10%	0%
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	30%	50%	15%	5%	0%																																												
児童生徒	35%	35%	20%	10%	0%																																												
教職員	50%	40%	10%	0%	0%																																												
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	35%	45%	15%	5%	0%																																												
児童生徒	30%	40%	25%	5%	0%																																												
教職員	50%	40%	10%	0%	0%																																												
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進																																																	
<p>6 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実</p> <p>学校には、子どもが助けを必要とするときに、先生や友達から支えてもらえる温かな雰囲気があると思いますか。</p>	<p>7 インクルーシブ教育の推進</p> <p>学校では、子どもがそれぞれの違いを認め、お互いを尊重し合って共に学び合っていると思いますか。</p>	<p>6,7ともに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を占める割合は保護者、教職員ともに80%を超えているが、児童においては至っていない。さらに「そう思わない」「わからない」との回答が目立つなど、児童の実感を得られていないことについては、支援の充実は共に学び合うことについて、具体的な対策をコーディネーターを中心として話し合い、職員全体で共有する必要がある。</p>																																															
<table border="1"> <caption>Item 6: Support for diverse needs</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>35%</td><td>45%</td><td>15%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>30%</td><td>40%</td><td>25%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>50%</td><td>30%</td><td>20%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	35%	45%	15%	5%	0%	児童生徒	30%	40%	25%	5%	0%	教職員	50%	30%	20%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 7: Inclusive education</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>35%</td><td>45%</td><td>15%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>30%</td><td>40%</td><td>25%</td><td>5%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>50%</td><td>30%</td><td>20%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	35%	45%	15%	5%	0%	児童生徒	30%	40%	25%	5%	0%	教職員	50%	30%	20%	0%
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	35%	45%	15%	5%	0%																																												
児童生徒	30%	40%	25%	5%	0%																																												
教職員	50%	30%	20%	0%	0%																																												
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	35%	45%	15%	5%	0%																																												
児童生徒	30%	40%	25%	5%	0%																																												
教職員	50%	30%	20%	0%	0%																																												

(3) 最適な教育環境の整備		
8 安全・安心な園づくりの推進	9 地域や家庭と連携した教育環境の整備	
<p>学校は、こどもの安全を守る環境の整備を進めるとともに、安全教育（生活・交通・防災など）に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>学校は、地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めていると思いますか。</p>	<p>8の安全・安心な学校づくりについては昨年度の調査との変化はほぼ変わらなかった。9の地域、家庭と連携した教育環境の整備については昨年度よりも、保護者の数値が上がっていた。今年度は、様々な地域活動が、盛んに行われ、PTA活動等を通して、実感をもってこの結果につながったと考えられる。今後は活動の活性化とともに、安全性への十分な確保を行い安心安全な活動を推進していきたい。</p>

(4) こどものいのちと権利の擁護		
10 こどもの最善の利益を守る環境づくり		
<p>学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいると思いますか。</p>		<p>教職員、保護者ともに「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合が8割を超えているが児童は7割にも届かない結果となった。子どもの意見の反映及び子どもの権利順守、相談しやすい学校づくりに対して大きな意識の乖離が見られる。生徒指導主任を中心に部会において今回の結果の要因を洗い出し、具体的な取組を明確にする。さらに教育相談の充実を図り、環境づくりを推進していく。</p>

(5) 本校の教育		
挨拶	公共心・勤労・奉仕	
<p>子どもは、地域や学校であいさつができていますか。</p>	<p>子どもは、学校や家庭ではきものそろえや片づけや手伝いができていると思いますか。</p>	<p>あいさつ、公共心・勤労・奉仕については昨年度（保護者、児童、教職員の各割合）とほとんど変わらない結果となった。今年度は、低学年を中心としたボランティア活動が行われ、少しずつその広がりが見られつつある。その様子について、学校だより等を活用し、ボランティアの輪を広げていきたい。</p>
<p>子どもは、きまり（宿題をする、時間を守る、やってはいけないことをしない）を守っていると思いますか。</p>		<p>保護者、教職員ともに昨年度と大きな変化はなかったものの、児童においては「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」が8割に満たなかった。登下校の様子や放課後の遊び方等について地域等からの心配の声も寄せられている。民生委員の方々との児童連絡会等を通じてさらに児童の見守り等を強化する必要がある。</p>

- 来年度の具体的な取組について**
- ・「城北スタンダード」を基にした学習基盤づくりを徹底するとともに、家庭、地域の方々へ学校だより等を活用してお知らせし共有を図る。
 - ・子ども一人ひとりが自分の考えをもち、安心して発表できる学級づくりを行い、子ども同士をつなげて学び合う授業づくりを行う。
 - ・スクールサポーターやs s w、s cとの情報共有を密に行い、気になる児童、家庭状況を把握し、不登校や問題行動等の未然防止を行う。
 - ・規範意識の基盤となる「家庭のしつけ」「規則正しい睡眠、食事等の基本的な生活習慣」の大切さについて、家庭や地域と積極的に情報提供を行い城北小の課題を共有し共通実践を行う。
 - ・地域の活動への、児童教職員の積極的な参加を促し、体験を通して豊かな心や自己有用感自己肯定感を高める。

- 小中学校関係者評価**
- ・どの学年もタブレットを十分活用できている。時に高学年ではとても使いこなせていると感じる。
 - ・学習は楽しく学ぶことが一番。子どもたちの興味、関心を高める授業をこれからも行ってほしい。
 - ・学年やクラスによって学級の雰囲気大きな差を感じた。配慮を必要とする児童にきめ細やかな対応をするためには、もっと補助的な立場の活用が必要と考える。（家庭での指導やマナーも含めて家庭教育の充実が必要）
 - ・教職員の経験値もそれぞれであり、若手の先生方も工夫をして授業を行っておられる。特に低学年のうちに鉛筆の持ち方や姿勢にも気を配り、丁寧な指導を日常的に行ってほしい。